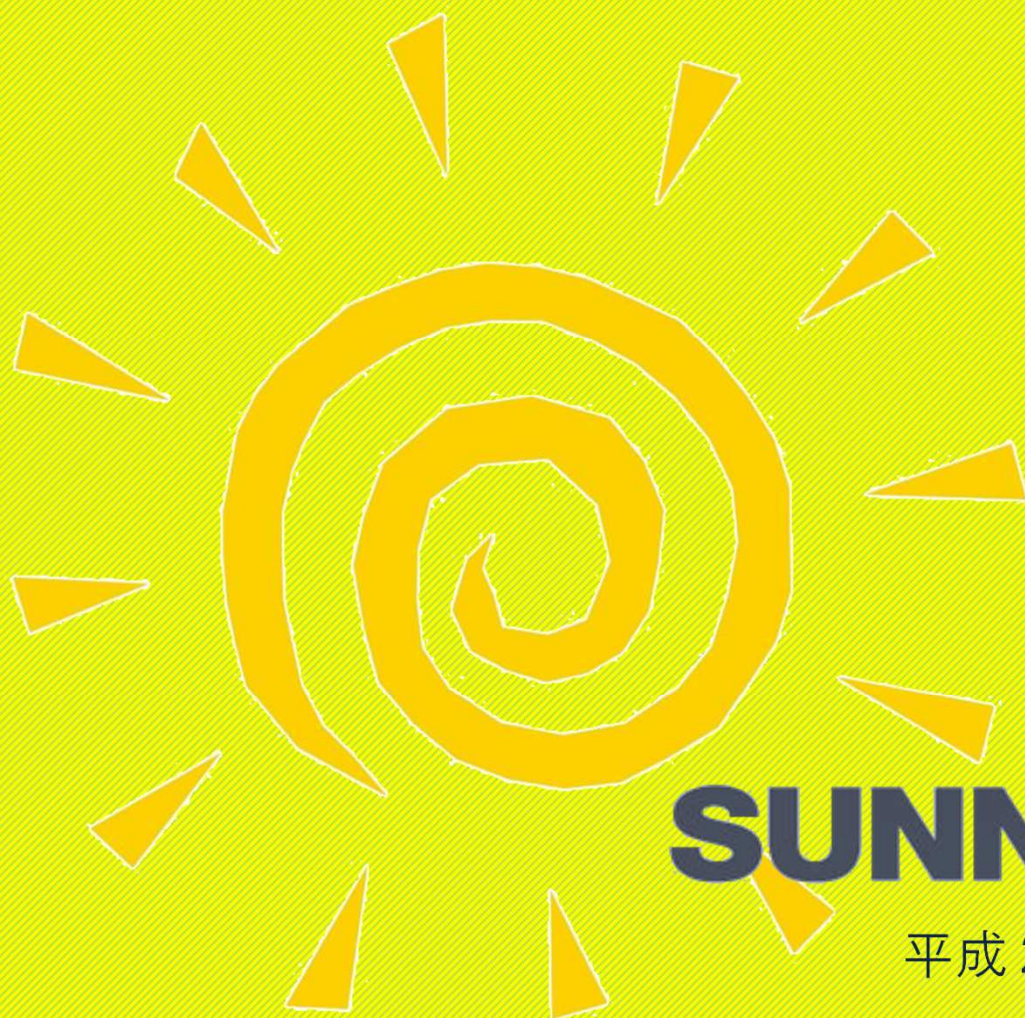




# SUNNY SIDE UP

平成 2 9 年 6 月 期 中間決算説明会

SUNNY SIDE UP







> 決算概要

> 連結業績ハイライト

> セグメント情報

> 営業活動状況のご報告

> スポーツ市場の可能性

> トピックスのご紹介



平成29年6月期  
第2四半期  
連結営業成績

売上高 **69億1,600** 万円

営業利益 **2億8,500** 万円

経常利益 **4億2,600** 万円

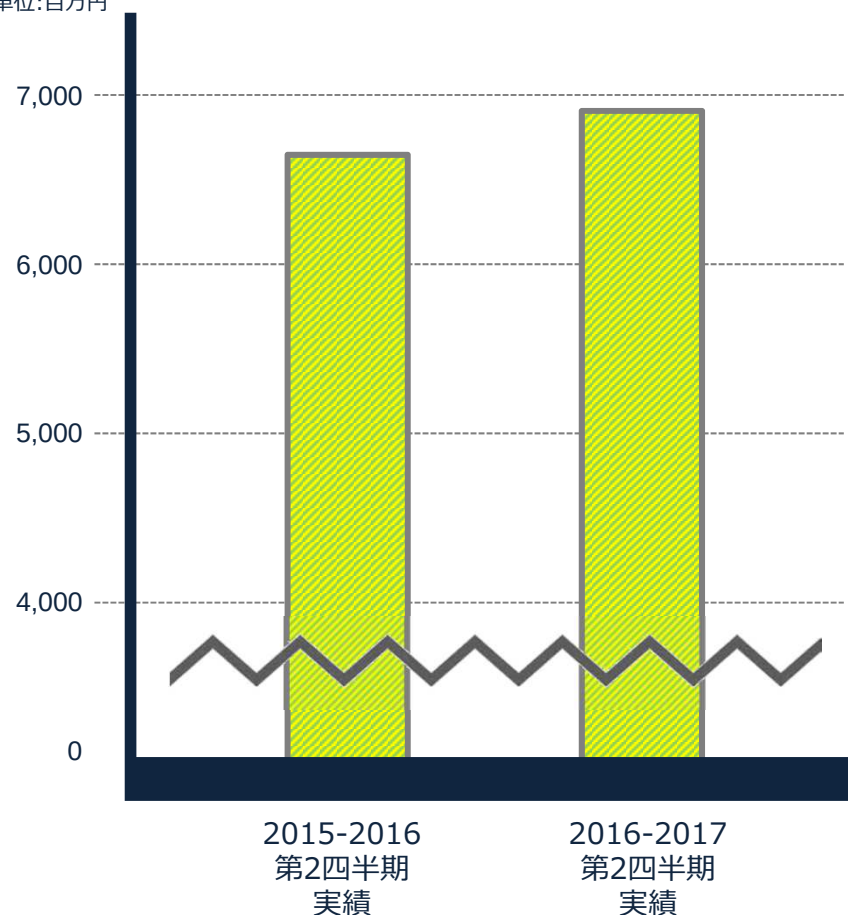
四半期純利益 **2億4,500** 万円

当社グループの業績は、当第2四半期連結累計期間も順調に進捗いたしました。

# NET SALES

## 【 連結売上高 】

単位:百万円



2015-2016  
第2四半期実績

**66億9,000万円**

2016-2017  
第2四半期実績

**69億1,600万円**

前年同期比

**+2億2,600万円**

**103.4%**

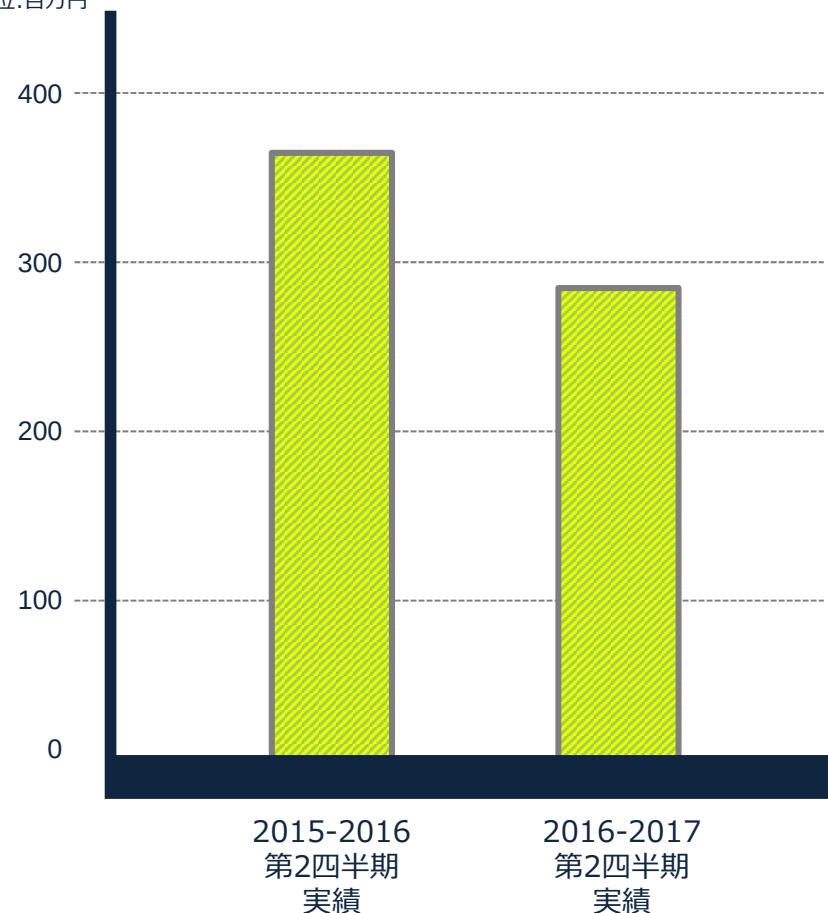


連結売上高が前年同期の実績を上まわったのは、マーケティング・コミュニケーション事業の好調さが継続しているのに加え、新規顧客の開拓が進むスポーツ事業の好調ぶりやbills事業において国内2店舗を新規出店したことが主な要因となっております。

# BUSINESS PROFIT

## 【 連結営業利益 】

単位:百万円



2015-2016  
第2四半期実績

**3億7,800万円**

2016-2017  
第2四半期実績

**2億8,500万円**

前年同期比

**-9,300万円**

**75.5%**

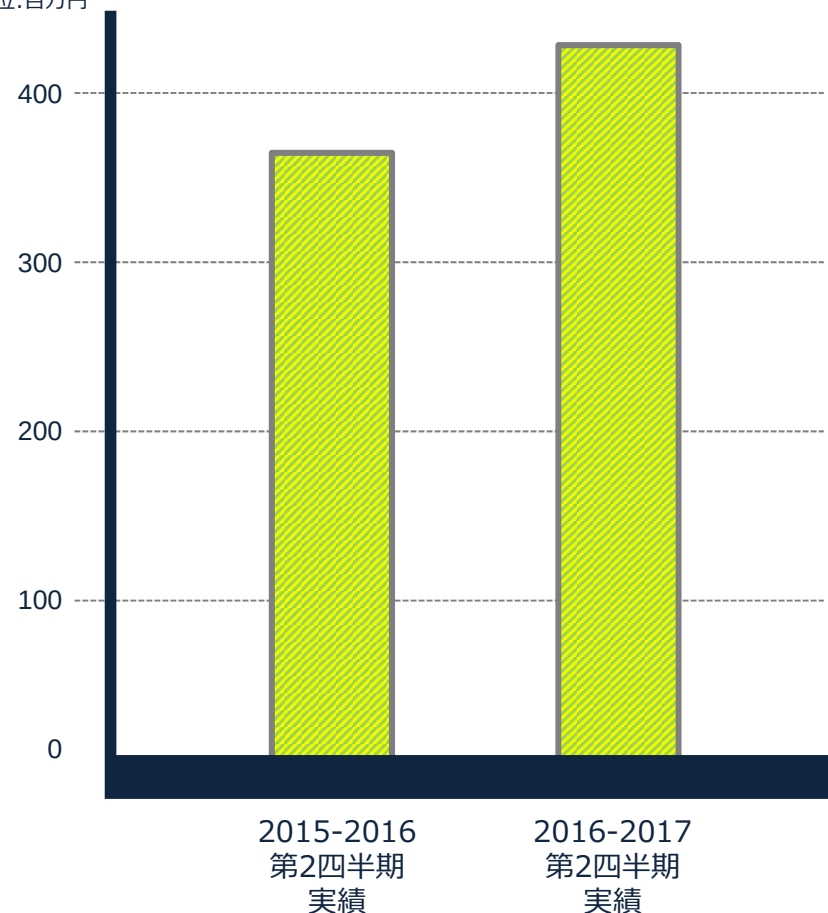


連結営業利益において前年同期比減となっているのは、SP・MD事業における継続的受注案件の一部において、実施時期の変動等があったことが主な要因となっております。

# ORDINARY PROFIT

## 【連結経常利益】

単位:百万円



2015-2016  
第2四半期実績

**3億7,600万円**

2016-2017  
第2四半期実績

**4億2,600万円**

前年同期比

**+5,000万円**

**113.3%**

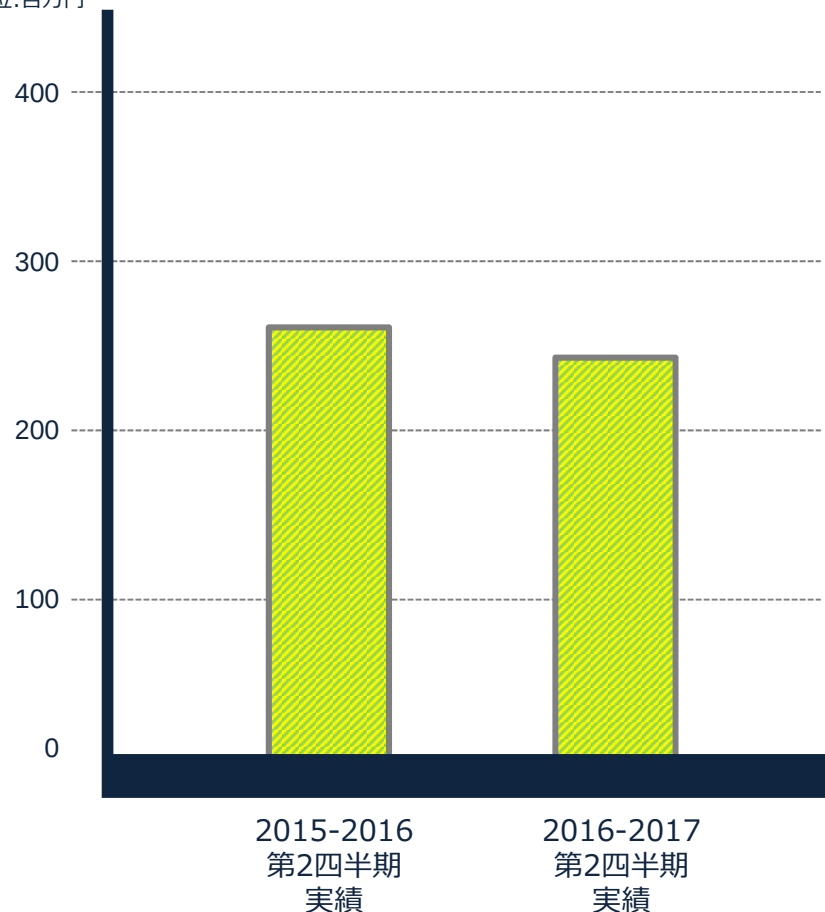


連結経常利益が前年同期比増となったのは、連結営業利益の前期差異の要因に加え、著しい為替変動が起きたことで、当社グループの海外取引において大きな為替差損益が発生したためです。

# CURRENT PROFIT

## 【連結四半期純利益】

単位:百万円



2015-2016  
第2四半期実績

**2億6,100万円**

2016-2017  
第2四半期実績

**2億4,500万円**

前年同期比

**-1,600万円**

**94.1%**



連結四半期純利益における前年同期比差異は、  
想定の範囲内であると考えております。





平成29年6月期  
第2四半期  
セグメント成績

マーケティング・  
コミュニケーション事業 **30億 2,800** 万円

S P ・ M D 事業 **12億 3,500** 万円

スポーツ事業 **5億 1,900** 万円

b i l l s 事業 **20億 3,000** 万円

開発事業 **1億 300** 万円

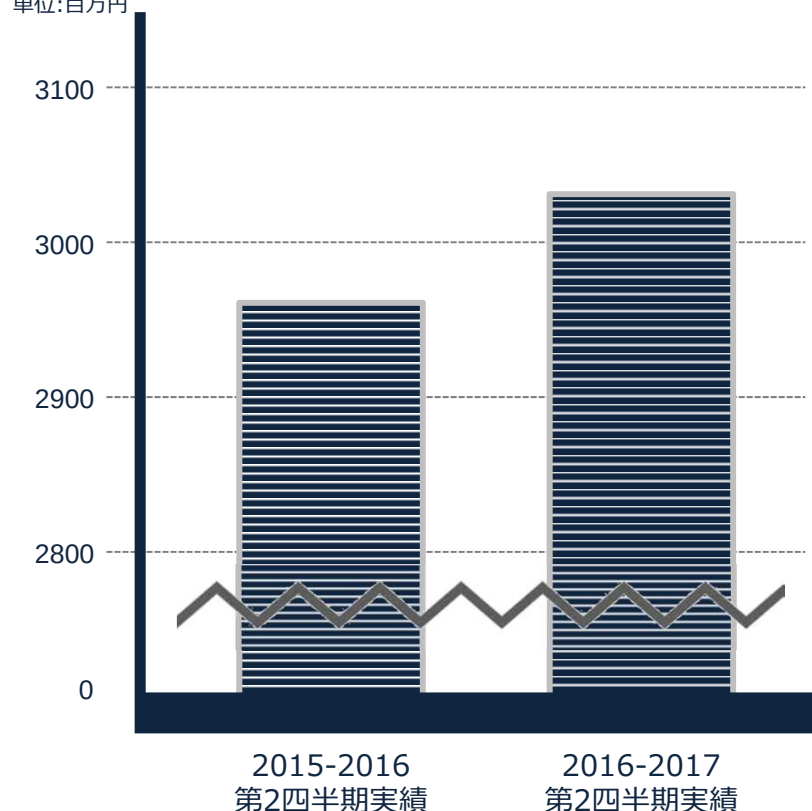


## MARKETING &amp; COMMUNICATION

【セグメント別売上高】

## マーケティング・コミュニケーション事業

単位:百万円

前期第2四半期  
売上高

29億6,700万円

当期第2四半期  
売上高

30億2,800万円

前年同期比

+6,100万円

102.1%

前期第2四半期  
セグメント利益

4億600万円

当期第2四半期  
セグメント利益

3億6,600万円

前年同期比

-4,000万円

90.1%



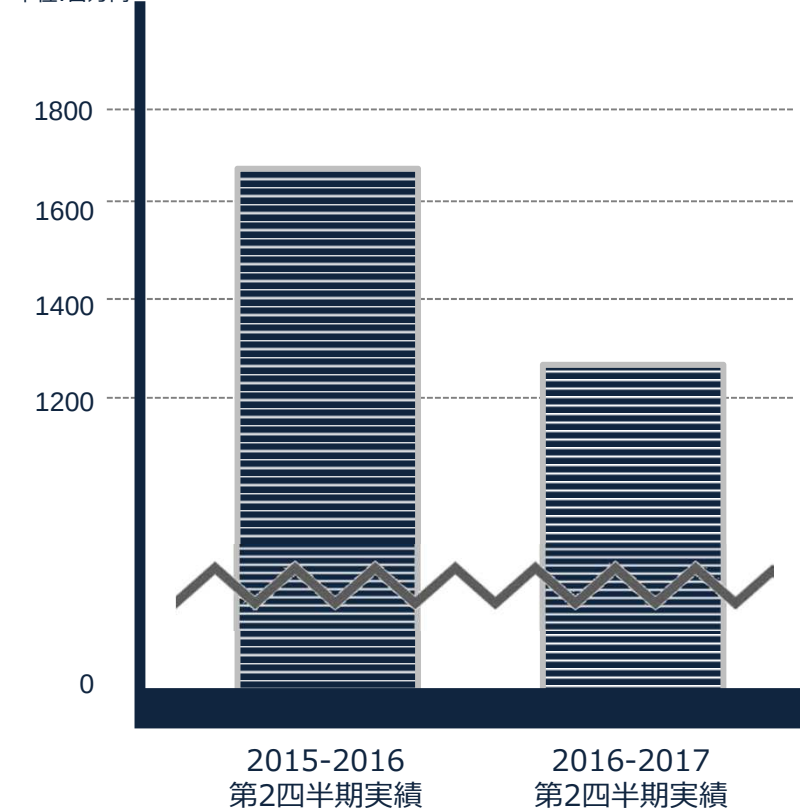
マーケティング・コミュニケーション事業の中核であるPR事業において、国内市場の拡大に伴い、サービスメニューの強化と人財リソースの投下による受注案件の増加により増収を実現しました。

## SALESPROMOTION&amp;MERCHANDISING

【セグメント別売上高】

## S P ・ M D 事業

単位:百万円

前期第2四半期  
売上高

16億6,900万円

当期第2四半期  
売上高

12億3,500万円

前年同期比

-4億3,400万円

74.0%

前期第2四半期  
セグメント利益

2億200万円

当期第2四半期  
セグメント利益

1億400万円

前年同期比

-9,800万円

51.5%



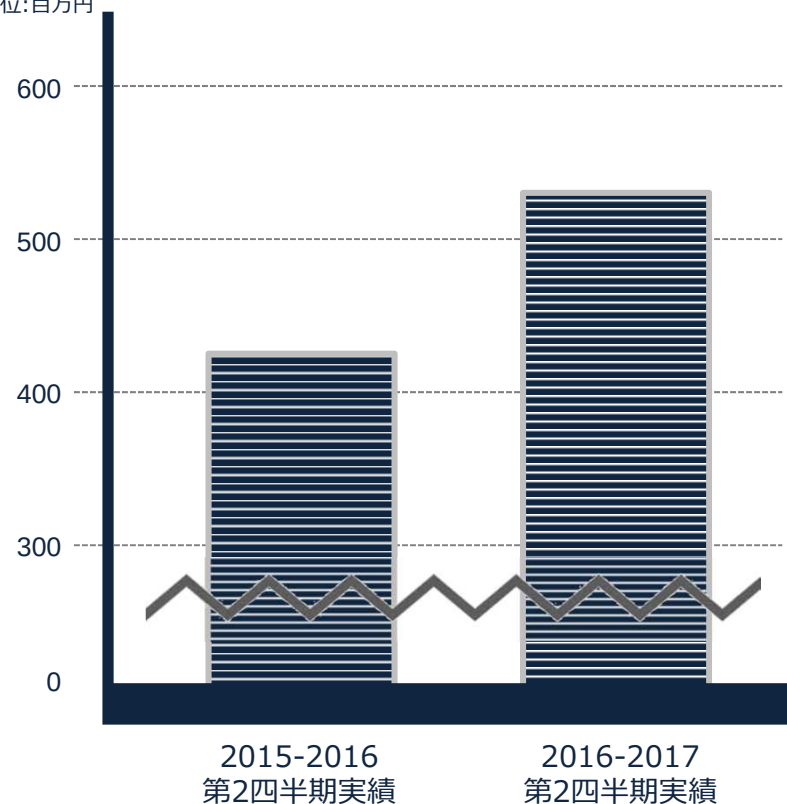
S P ・ M D 事業では、前年同期に国内有数の大型プレゼントキャンペーンを受注したため、創業以来の業績を残すことができました。今期は受注時期の変更があったため、結果的に減収となっております。

## SPORTS MARKETING

【セグメント別売上高】

## スポーツ事業

単位:百万円

前期第2四半期  
売上高

4億2,300万円

当期第2四半期  
売上高

5億1,900万円

前年同期比

+9,600万円

122.7%

前期第2四半期  
セグメント利益

4,000万円

当期第2四半期  
セグメント利益

8,700万円

前年同期比

+4,700万円

217.5%



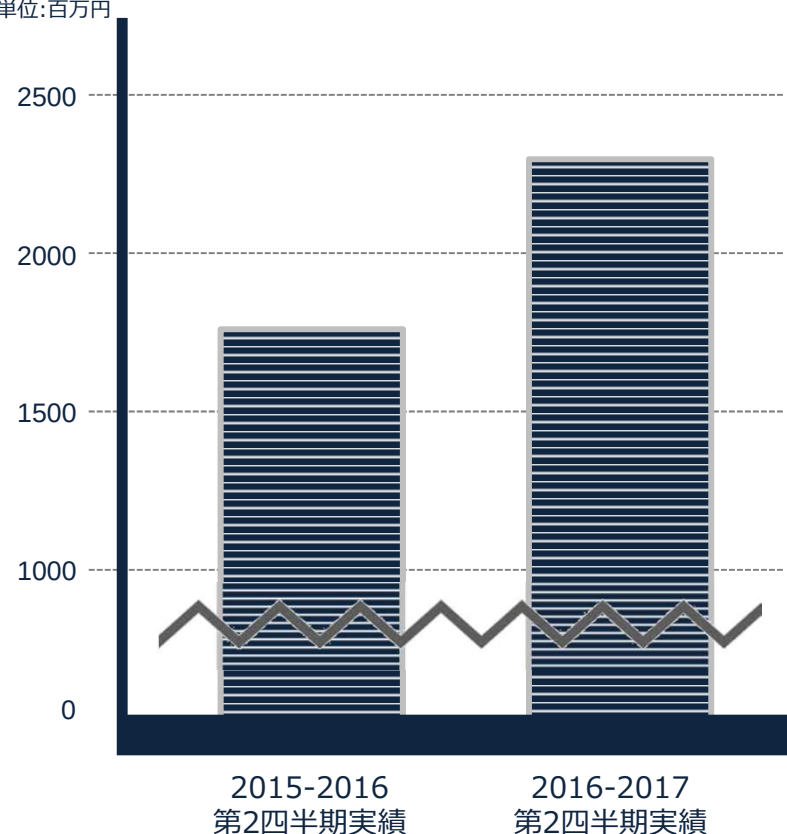
2020年東京オリンピック・パラリンピック開催を控え盛り上がるスポーツ市場の活性化を追い風に、受注案件の単価向上と収益率の向上を進めた結果、前年に比べて順調な進捗し、増収となっております。

bills

【セグメント別売上高】

## bills 事業

単位:百万円

前期第2四半期  
売上高

15億5,200万円

当期第2四半期  
売上高

20億3,000万円

前年同期比

+4億7,800万円

130.8%

前期第2四半期  
セグメント利益

1,500万円

当期第2四半期  
セグメント利益

3,700万円

前年同期比

+2,200万円

246.7%



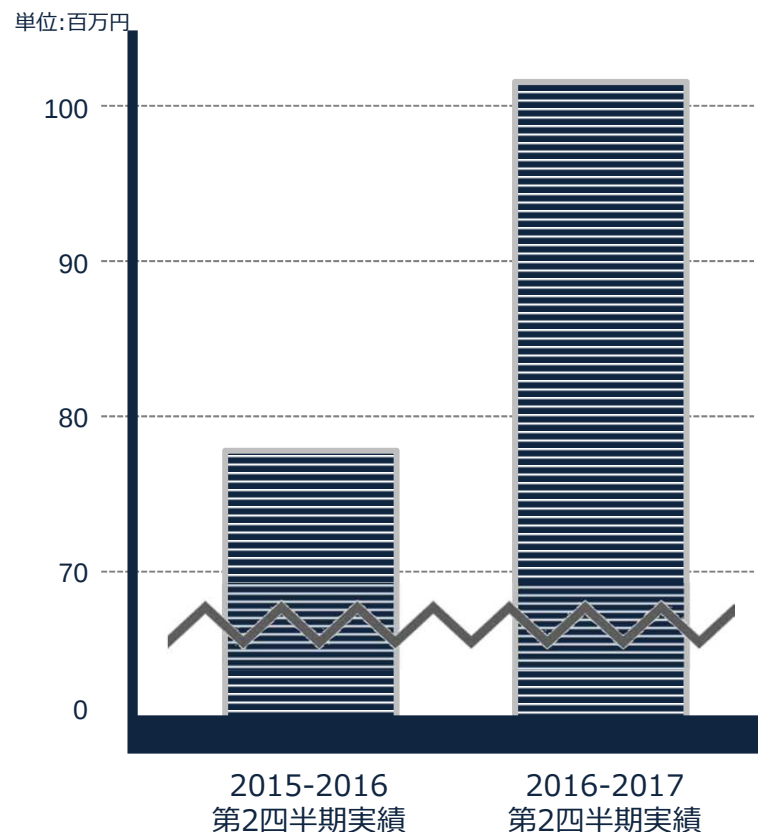
新たに开店したbills福岡・bills銀座の国内2店舗と韓国2号店の人気ぶりに加え、  
ハワイ店の収益性が大きく改善したことにより、確実な成長を果たしております。



## D E V E L O P M E N T

【セグメント別売上高】

## 開 発 事 業

前期第2四半期  
売上高

7,800万円

当期第2四半期  
売上高

1億300万円

前年同期比

+2,500万円

132.0%

前期第2四半期  
セグメント利益

-300万円

当期第2四半期  
セグメント利益

-5,900万円

前年同期比

-5,600万円

—

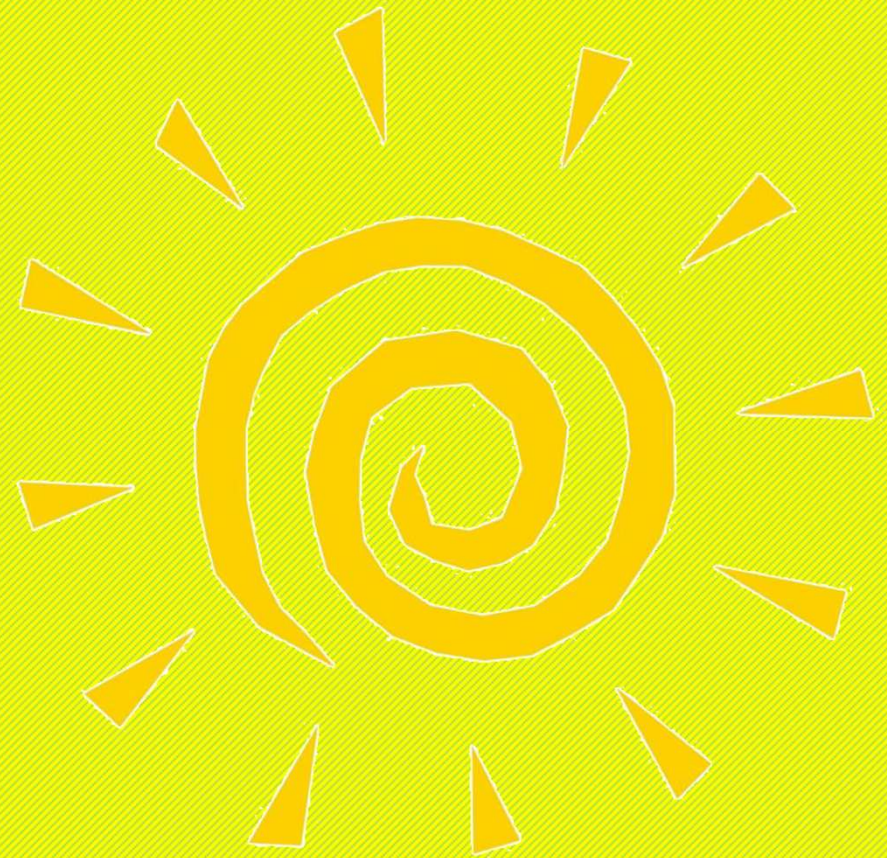
当社グループの将来に寄与する新規事業として稼働している三社のうち、グローバルビジネスを展開するENGAWA社が、予定通り事業規模を拡大していることが主な要因となって、増収となりました。

# 営業活動状況のご報告

P14 – P24  
前方スライドをご覧ください

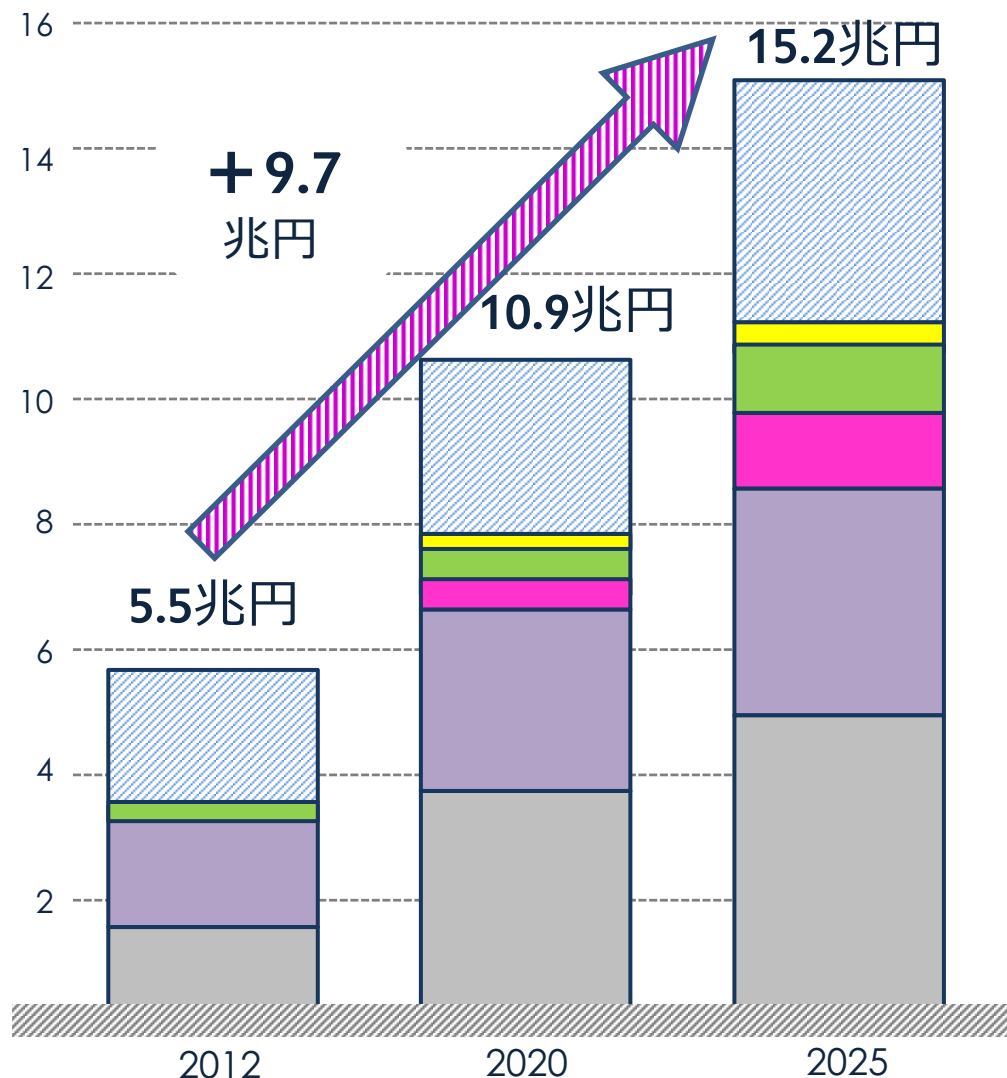


# スポーツ市場の可能性





単位：兆円



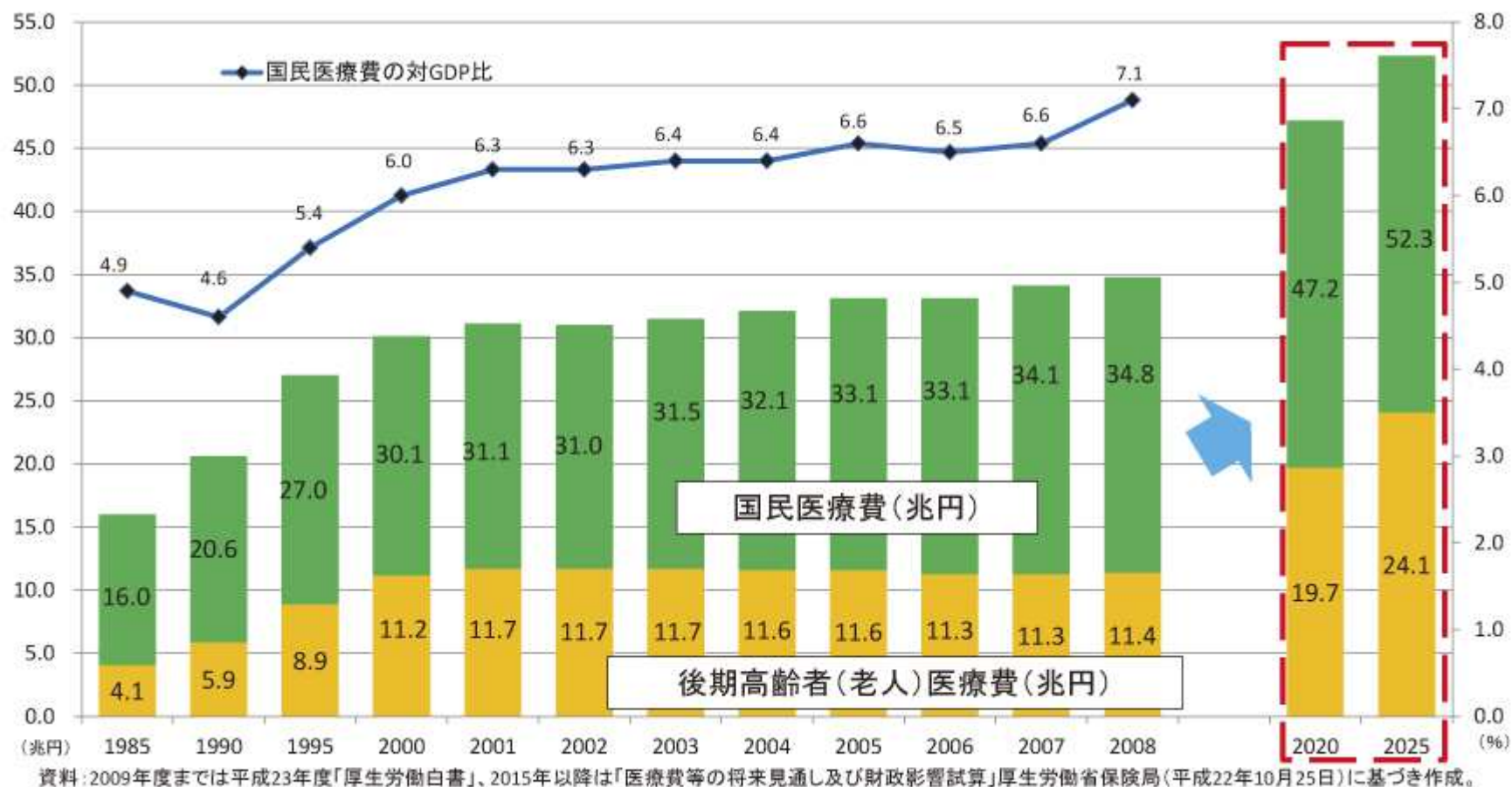
# スポーツマーケットは 10兆円を超える 一大市場に発展

- スタジアム改革
- アマチュア改革
- プロ改革
- I o T 改革
- スポーツグッズ等改革
- 周辺産業改革



出典元：EY総合研究所作成  
スポーツ未来開拓会議（16年5月）発表

多くの高齢者が可能な限り長く自立して暮らし、年齢を問わず、その知恵や経験を活かして積極的に社会参加できるよう、「健康寿命の延伸」を図ることが最も重要といえます。



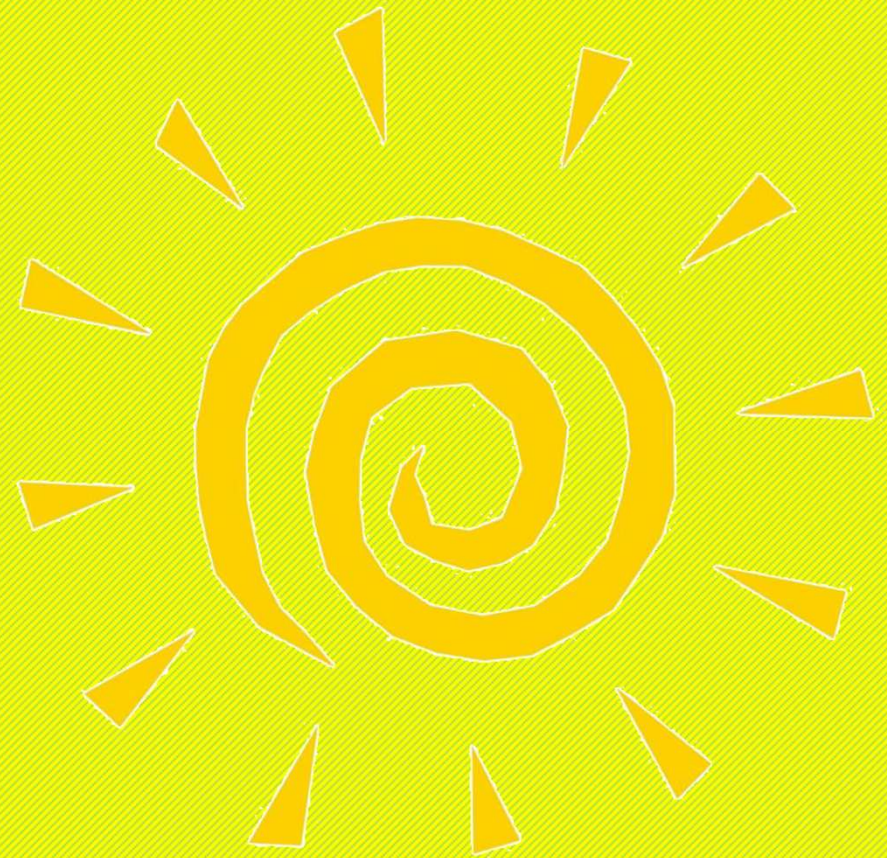
総務省「ICT超高齢社会構想会議報告書」（厚生労働白書（平成24年）、厚生労働省 医療費等の将来見通し及び財政影響試算（平成22年10月）より）



## 健康寿命と平均寿命の差（男女別2010年）



# トピックスのご紹介



## トピックスのご紹介\_01

オリンピック・パラリンピックを契機に15兆円超規模に発展するスポーツ市場事業参入  
株式会社EPARKスポーツ、設立

会員数14万人を超える株式会社EPARKとサニーサイドアップの共同事業

## スポーツを通じて、豊かな社会を創造する

平均寿命世界一から<sup>LL</sup>  
健康寿命世界一へ。

現在日本では、平均寿命と健康寿命の間に<sup>L</sup>  
男性で平均9歳、女性で平均13歳の<sup>L</sup>  
差があると言われており、<sup>L</sup>  
この差が社会保障費の増大に繋がっています。

私たちは、私たちが提供するサービスを通じて<sup>L</sup>  
DO!スポーツ人口の裾野を拡大し、<sup>L</sup>  
これらの社会課題の解決を目指します。

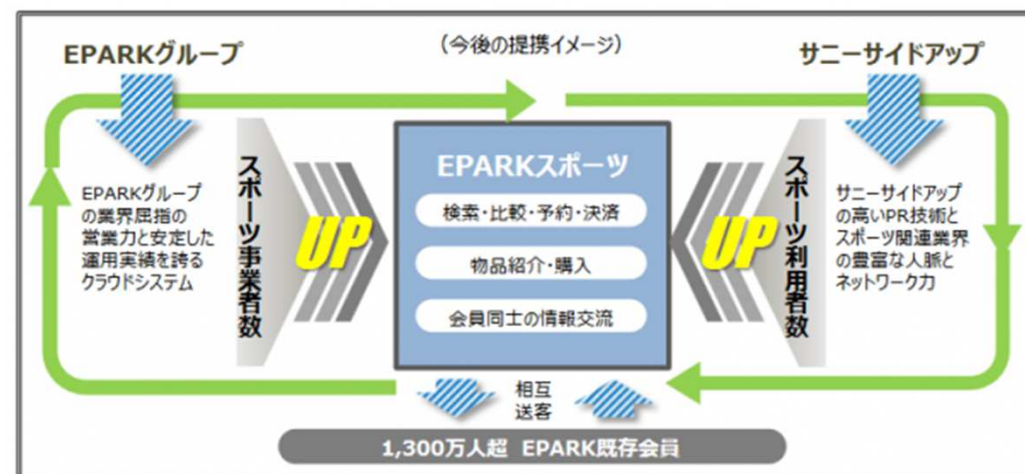
スポーツ産業で<sup>L</sup>  
活躍する場の拡大へ。

スポーツビジネスが巨大産業となっている欧米と比較して、<sup>L</sup>  
これまで“教育”の側面が強かった日本のスポーツ産業は<sup>L</sup>  
圧倒的に規模が小さいのが現状です。

私たちは、私たちが提供するサービスを通じて<sup>L</sup>  
スポーツ産業の活性化、スポーツ産業に関わる人の増加、<sup>L</sup>  
アスリートがセカンドキャリアとして活躍できる場の<sup>L</sup>  
創出を目指します。

まだスポーツを楽しむ足りない!

ありがとうございます。

EPARKの会員が  
140万人突破!



## トピックスのご紹介\_02

2017年2月24日 経産省と経団連が主導する新しい働き方、プレミアムフライデーに賛同した当社ならではの新たな福利厚生制度「たのきん」制度を導入

2017年2月より毎月最終金曜は10時～15時を就業時間とします



当社ならではの試みとして  
初回の金曜日には  
対象となるスタッフ全員に  
支度金3,200円を支給!!

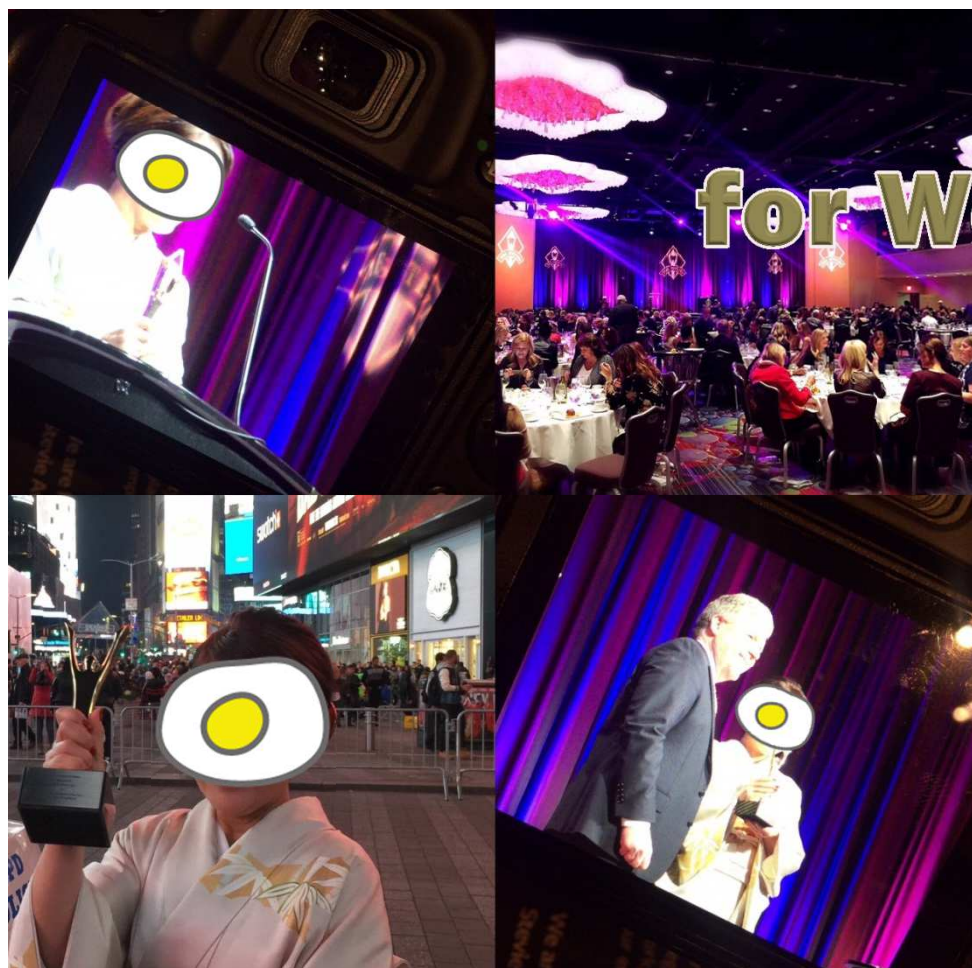




## トピックスのご紹介\_03

2016年11月18日 ビジネス界のアカデミー賞「Stevie Awards」の  
女性が経営する企業部門で日本企業で唯一金賞を獲得

次原個人も「Female Executive of the Year in Asia, Australia or New Zealand」銀賞受賞



# Stevie® Awards for Women In Business GOLD WINNER!



Stevie Awardは米国の著名な実業家マイケル・ギャラガー氏が世界中の企業と実業家の成果と貢献を認めるために2002年に設立されました。

# SUNNY SIDE UP

- ・本資料は当社をご理解いただくために作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。
- ・本資料を作成するに当たっては正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。
- ・本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。
- ・本資料中の予想・予測などは、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、実際の業績は、事業環境の変化等の様々な要因により、言及または記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となることがあります。

以上、ご承知おきください。

＜本件に関するお問い合わせ＞

株式会社サニーサイドアップ グループ管理本部 経営企画部 広報IRグループ TEL：03-6894-3233 FAX：03-5413-3052 mail：ir@ssu.co.jp

